



てらい

寺井地区むらづくり推進協議会（太田市）

地区の概要

平地農業地域

取組面積	46.9 ha (田 40.4 ha、畑 6.5 ha)	
資源量	水路	7.3 km
	農道	6.9 km
主な構成員	農業者、非農業者、集落 営農、自治会、長栄会、 育成会 等	
交付金	約 405 万円	
	〔 農地維持支払 資源向上支払（共同、長寿命化） 〕	

- 寺井地区は、群馬県の南東部の太田市に位置し、水田の基盤整備、水害対策を含む排水対策特別事業が実施され、水田の汎用利用が可能な生産基盤が確立した。
- 地形的は、赤城山の裾野である大間々扇状地の先端に位置する。以前より、寺井地区の田んぼは、太田市の遊水池の役割があるとされてきた。
- 農産物は、水稻、小麦、大豆、野菜、そば等を幅広く生産している。特に大豆は、単収平均で237kgである。地区の水路や農道等の施設は、農家が出役し掘ざらいや砂利敷きなど共同作業で維持管理を行ってきた。
- 今後は担い手の確保育成を行い、より一層地域一体となった保全管理の実施が望まれる地区である。

推薦項目

<input checked="" type="checkbox"/> 子供の参画	<input type="checkbox"/> 女性の参画
<input checked="" type="checkbox"/> 学校と連携	<input type="checkbox"/> 行政と連携
<input checked="" type="checkbox"/> 地域交流	<input type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 広報
<input checked="" type="checkbox"/> 環境保全	<input type="checkbox"/> 工事
<input type="checkbox"/> 遊休農地解消	他：田んぼダム

活動内容・成果

- 地域の田んぼの排水柵の改修や農地の集約化を率先して行っている。
- 田んぼダムの実施については、太田市内の先進事例となっている。
- 田んぼダム普及のため、関東学園大学と連携し、のぼり旗やHPの設置など広報活動にも力を入れており、多くのメディアに取り上げられている。

波及効果

- 育成会、老人会等との連携により、サツマイモ植え等を実施し、農業に関心が無かった子供が参加するようになっている。
- 活動を通じて農地や農業用水路が地域の資源であるという認識が住民に浸透し始めており、ゴミの投棄等が少なくなっている。



◇ 育成会とサツマイモ植え



◇ 大学生と泥上げ



◇ 関東学園大学と田んぼダム用の排水柵の設置

